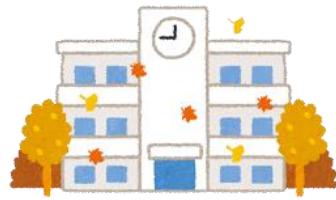




## ～教育講演会が行われました～



11月1日（土）に中高合同での教育講演会が行われました。講師として飯山暁朗氏（一般社団法人グローアップフォーラム代表理事）をお招きし、「金メダリストから学ぶ夢を叶える3つの法則」という演題でご講演いただきました。講演中は飯山先生の話す内容に真剣に耳を傾けるみなさんの姿が印象的でした。特に、先生の言葉を一つも逃さないように必死でメモを取る手が止まらない姿勢が素晴らしかったです。みなさんのふり返りを一部抜粋して紹介します。

今までずっと、「ネガティブは良くない、ポジティブがいいよ。今後のためにポジティブを身につけよう。」なんて言われてきたけれど、なぜ大切なのはあまり分かっていませんでした。今回の講演でその“なぜ”的部分を聞いて、今までの人生の中で聞いた話がすべてつながったような気がしました。（1年生）

講演を通して、「ワクワクの願望」「プラスの言動」「自分より誰かのために」の3つの夢を叶える法則を学ぶことができました。私は嫌だな、と思ったり、やりたくないな、と思ったり、ミスしたときなどはすっと引きずってしまい、ネガティブ思考になってしまいますが、これからそんな時でもプラスに過ごしていきたいと思いました。（2年生）

講演を聞いて「絶対に夢を叶える」と決めました。私は自分に自信を持てずにいつも「失敗したときにどうしよう」「絶対に無理」など目の前の壁から逃げようとばかり思っていて、そんな自分の中でも一番嫌いです。けれど自分がたくさんの人を楽しませたり、喜ばせられたりするような未来を想像したら、そうなりたくて仕方ありません。自分も他の人も満たせるような人になりたいです。（3年生）



この講演を通して、自分自身が思いもよらないくらい、今までの15年間の人生がもったいなかつたと心から思いました。「ものは捉えよう」という言葉があるように、何事も「マイナス」を「プラス」に変換することが大切ということは理解して生きてきたはずだけど、飯山さんのお話を聞いて、その本当の意味や本質にたどりつくことができたように感じました。私は今まで批判的な考え方や物事に対して冷めた目線で向き合ってしまい、大きな夢や目標も「自分にはできない」とやらずになげだし、何となく生きてきました。この考え方を卒業し、自身の願望を大切にしていきたいと思えるようになりました。（3年生）

私は将来をふんわりとしか考えたことがありませんでした。どうにかなるだろうぐらいにしか思っていないし、「夢」とか「将来なりたい自分」など、自信がある大きなものがないな、と思っています。それでも、今自分が少しでも頑張りたいと思えたことは頑張ってみたいなと思いました。「誰かのために」頑張れる人になりたいし、そのためのイメージやプラスの言動などを実践して、良いイメージや経験を自分の脳に入力しようと思います。「潜在意識」から変えて、今の自分もこれから自分も沢山好きになれたらいいなと思いました。（3年生）

私は諦め癖があり、「願望」していても、心のどこかではやっぱり無理だろうと思っている節がありました。私はもうすぐ漢検を受けます。初めて受けるけれど、（1年生の目安となる級よりも）1つ上の級を受けます。勉強している限り、難しくて間違えることが多いけれど、先生の講演を聞いて、自分が合格している姿を思い浮かべると、なんだか合格できる気がしてきました！この気持ちを当日までキープし、試験前に「イッツ・ショータイム」、試験中に難しい問題が出てきたとき、「実に面白い」を思い出し、負けない雰囲気作り、チャレンジします！（1年生）



成功者は成功するまで努力している、という言葉に共感しました。ちょうど国語の意見文で私は努力の意味について考えていました。努力を続けながら自分と人を比べてこの努力は意味があるのか悩んでいました。でも脳を感情が支配していることを知れたので、脳をコントロールしていきたいです。今日から言葉や態度、感情を変えていき、それを繰り返していいイメージを定着させていきたいです。自分の可能性を信じられそうです。（2年生）